

筑後川遺産保存活用の推進プラン（２）石室を彩る原始絵画 - 耳納北麓の装飾古墳 -

【①ストーリー】

今から1,500年ほど前の古墳時代、耳納山地北麓には豪族や有力者たちが数多くの古墳を築造しました。特に6世紀の後半になると、山麓各所に直径10 m～20 mほどの小型の円墳が密集して造られた後期群集墳が発達します。この数は現在確認できるものだけでも森部平原古墳群や益生田古墳群など400基以上、これまでに消滅した古墳や未発見のものを考えると1,000基を超える古墳が存在したと考えられます。耳納山地北麓にこれだけ多数の古墳が営まれたことは、当時多くの人々がこの地で生活していたことを物語っています。この地域の古墳で特徴的なのが、死者を埋葬した石室に彩色で図文を描く装飾古墳が確認できることです。田主丸から草野にかけて同心円や三角文、人物や舟、鞍などを描いた装飾古墳が多数残っています。

これらは耳納北麓を通過する山辺道で結ばれ、道沿いには古代や中世に開基したと伝わる石垣観音寺や若宮八幡宮などの寺社、近世の日田往還沿いに発達した草野町の伝統的町並みなどが広がります。自然豊かな当地の歴史文化に育まれた神幸祭や仏像、古木なども数多く伝え残されています。

【②構成する歴史遺産】

- (国) 田主丸古墳群
 - 田主丸大塚古墳
 - 寺徳古墳
 - 中原狐塚古墳
 - 西館古墳

(国) 下馬場古墳

(県) 前畑古墳

(県) 森部平原古墳群

(市) 装飾古墳石材

(県) 須佐能袁神社本殿、拝殿、楼門

(県) 鹿毛家住宅

(市) 石垣神社の石造鳥居

(市) 寿本寺山門

(市) 紙本著色若宮八幡宮縁起

(市) 若宮八幡宮の神幸行事

(市) 須佐能袁神社の神幸行事

(国) 木造阿弥陀如来立像

(県) 木造毘沙門天立像

(市) 阿蘇神社の楠

(市) 観音寺のハルサザンカ

(市) 安超寺の銀杏

清長橋古墳群

益生田古墳群

善院古墳群

石垣観音寺

石垣神社

草野町伝統的町並み保存地区

(国登) 草野歴史資料館

(国登) 山辺道文化館

【③課題】

装飾古墳が点在しており、一体的な保存・活用に至っていません。また、公開されていない古墳が多く、壁画などを目にする機会が限定的です。

【④未来のストーリー】

点在する大小さまざまな装飾古墳を人々が身近に感じられるようにし、一体的に保存・活用を図ります。装飾古墳を身近に感じられるような取組を通して、文化芸術活動の振興に貢献していきます。

取組の方向	
○耳納北麓の装飾古墳の整備	
○原始絵画をテーマとした文化芸術振興	
○耳納北麓の装飾古墳めぐりの実施	

【⑤体制】

(令和3年6月時点)

地域	市民	田主丸町他
	市民団体	水縄校区まちづくり振興会
	事業者	
	関係機関	大塚古墳歴史公園、田主丸総合文化施設（そよ風ホール）、世界のつばき館、草野歴史資料館
久留米市		文化財部局、文化芸術部局ほか

